

# 第23回知的財産戦略本部会合

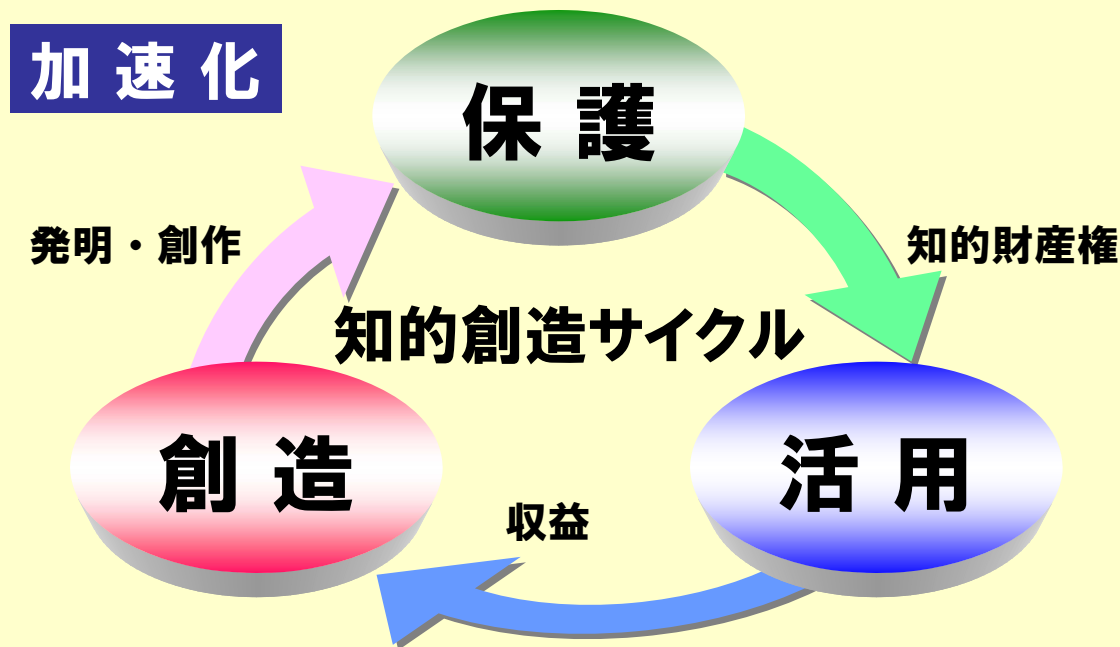
## 大学等発のイノベーション 促進のための知財システム

2009年 6月24日

本部員 野間口 有

# 基本認識

1. **イノベーション促進**のための知財戦略の強化
2. **グローバル**な知財戦略の強化
3. **ソフトパワー産業**の成長戦略の推進
4. **知的財産権の安定性・予見性**の確保
5. **利用者ニーズに対応**した知財システムの構築



# 具体的には・・・

## 1. 大学等研究者の知財マインドの醸成

研究者は発明の産業利用への熱意を持つべきである。また産学官連携のキーワードは相互理解。約100年前の「うま味」発見から「調味料」商品化がリーディングケース。

## 2. 総合プロデュース機能の早急な確立

研究成果の実用化に際しては、総合プロデュース機能が極めて重要であり、大学においても係る機能を早急に構築する必要がある。

## 3. 国際的なオープンイノベーションへの対応

研究現場の国際化が進展する中、国際共同研究における知的財産権の取扱いを、関連法制度も含め、国益を加味して検討するべきである。

**知的財産推進計画2009に盛り込まれており、  
具体化に向け今後しっかりとした議論を期待**